

●シリーズ●

埼玉から世界へ！ -その4-

日本貿易振興機構（ジェトロ）埼玉貿易情報センター

ジェトロ（JETRO）：独立行政法人日本貿易振興機構（Japan External Trade Organization）は 70 か所を超える海外事務所と約 50 の国内事務所で、主に農林水産物・食品の輸出促進、中堅・中小企業の海外展開支援や専門家による伴走型支援、またスタートアップ企業のグローバル展開や外国企業誘致などの活動に取り組んでいます。埼玉貿易情報センターは、埼玉県内事業者向けに海外ビジネスの情報提供、貿易や投資の実務に関する相談に対して、自治体、金融機関、商工会議所などと連携して各種支援を行っています。

今回は埼玉県内の地域産業活性化や外資企業誘致を目的として実施した米国のアグリテック分野のスタートアップの招聘事業について紹介します。

埼玉県内のアグリテック・エコシステム形成を目指して

昨年 10 月 14 日～17 日にかけて、埼玉県深谷市などと連携し、日本での事業展開に関心を持つアグリテック分野の米国スタートアップ 4 社を招聘しました。今回招聘したのは、イチゴの室内垂直水耕栽培を行う Plenty Unlimited Inc.（プレンティ・アンリミテッド）やプロバイオティクス種子コーティング技術を持つ Earnest Agriculture, Inc.（アーネスト・アグリカルチャー）、農業サプライチェーン管理プラットフォームを運営する Verdethos, Inc（バーデソス）、天然素材の雑草防止シートを開発する Sage Eco-Innovations, LLC（セージ・エコイノベーションズ）の 4 社です。

関東でも有数の農業地域である深谷市は、高齢化による担い手不足をはじめとした日本の農業課題に対しアグリテックの力で解決を図っています。国内

外スタートアップへの実証農地の提供や協力農家の紹介などを行い、アグリテック企業が集積する農業版シリコンバレー「DEEP VALLEY（ディープバレー）」を実現し、「儲かる農業都市ふかや」を目指しています。ジェトロの支援により、2024 年 6 月には米国ノースダコタ州のアグリテック分野のイノベーション推進機関である Grand Farm（グランド・ファーム）との連携を開始しました。グランド・ファームとの連携を機に外資誘致活動を加速し、アグリテック・エコシステムの形成を推進しています。今回の招聘事業の実施においても、グランド・ファームには、米国スタートアップの紹介等協力いただいております。

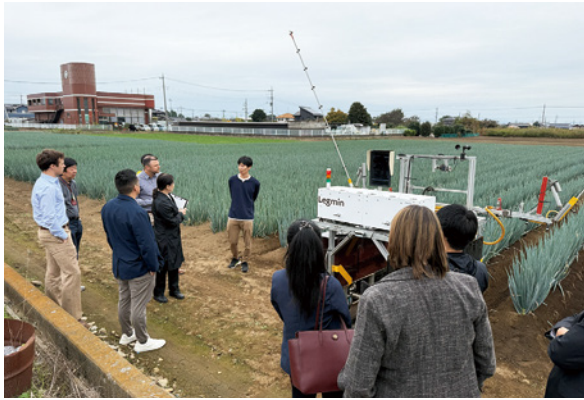
米国のアグリテックスタートアップが県内を視察し、県内外企業と交流

招聘期間中には、深谷市長の表敬訪問や深谷市内に拠点をおくアグリテックスタートアップや農業資材店の視察をしました。また、都内のスタートアップ支援機関等の視察も行いました。

さらには、10 月 16 日には、埼玉県のイノベーション創出拠点「渋沢 MIX」で、米国アグリテックスタートアップによるピッチ・交流会イベントを開催しました。県内外のアグリテック関連企業や商社、金融機関等約 100 人が参加し、ピッチに参加した米国企業とネットワーキングを行いました。埼玉県からは渋沢 MIX、深谷市および埼玉りそな銀行よりそれぞれのアグリテック支援について紹介し、ジェト



深谷市長表敬訪問



深谷市内スタートアップ（株式会社レグミン）の農業散布デモ視察

口のシカゴ事務所より「米国アグリテック・エコシステムの概況」について参加者に向けて情報提供を行いました。また、同日午後には、県内外 12 社の日本企業と招聘した米国企業との個別商談を 19 件実施し、具体的な協業連携の可能性について議論しました。参加企業からは、「米国アグリテック企業の関心の方向性が確認出来たことが有益であった。規模や手法が全く異なる日本と米国の農業における協業の可能性も感じられたので、両国の取り組みを継続的なものとする事から双方の課題解決から将来的な発展に繋げられると認識した。」「海外スタートアップの方だけでなく、自治体や他企業・団体の方とも交流ができたのが有益だった。」などの声をいただきました。

10 月 15 日には、深谷市が主催し第 7 回目を迎えるアグリテック分野のビジネスコンテスト「ディープバレーアグリテックアワード」の最終審査会および授賞式が開催されました。2025 年度は応募総数 28 件の中、最優秀賞には株式会社エンドファイトが選ばれました。植物内生菌（DSE: Dark-septate endophyte）という微生物を活用し、都市緑化、環境再生、持続可能な農業などを実現しています。昨年度より新設され米国での実証実験の実施権を得られるグランド・ファーム賞には株式会社 WAKU が選ばれました。同社は「グルタチオン」という天然成分を活用し、気候変動下での食糧問題解決を目指しています。米国企業も出席し、受賞者や審査員等関係者と交流を行いました。

招聘企業からは「今回のプログラムに参加した目的は日本の農業とグリーン分野の産業理解を深めることと、今後の日本での生産や販路拡大のためのネットワーキングを行うことであった。プログラム

の中でどちらの目的も達成することができた。」「専門的な学びと文化的理解の両面で、非常に貴重なものだった。」「今回出会った企業の 1 社とは 2026 年中に深谷市でのテスト生産や販売を進める予定で交渉を進めている。」とのコメントがありました。埼玉県内への立地や県内企業との協業連携実現に向けて、引き続きサポートして参ります。

日本と海外をつなぐジェトロのオープンイノベーション支援

ジェトロは、日本企業と海外企業のイノベーションを促進するため、協業連携支援（J-Bridge）と対日投資支援を中心に総合的な支援を行っています。今回の事業もこのオープンイノベーション支援および県内への企業誘致の一環として行われました。J-Bridge は、新規事業創出を目指す日本企業と海外スタートアップ等の橋渡しを行うオープンイノベーションプラットフォームです。海外有望企業情報の提供、ミートアップ、専門家による個別支援、オンラインイベントなどを通じて協業機会を創出し、日本企業と海外企業の連携を加速しています。対日投資支援では、日本進出を目指す外国企業に対し、市場情報の提供、法制度案内、拠点設立支援、日本企業とのマッチング支援など、ワンストップで支援を提供しています。

海外企業や研究機関との協業連携にご関心のある方は是非ジェトロ埼玉にお問合せ下さい。



渋沢 MIX で開催した米国スタートアップによるピッチ・交流会の様子